

昭和
100
年
終
戦
80
年

やま と 激動の 昭和 史

交通の発達と戦争

2025

9.13(土)～9.23(火・祝)

開場時間 ■10:00～17:00

会場

大和市文化創造拠点シリウス 1 階ギャラリー

大和市大和南 大和市南1-8-1 小田急江ノ島線「大和」駅下車 徒歩約3分

関連事業

学芸員による展示解説

9月17日(水) 14:00～15:00の1回

9月21日(日) 10:30～11:30、14:00～15:00の2回

*申し込み不要。当日直接、会場へお越しください。

入場
無料

昭和100年
終戦80年

やまと激動の昭和史

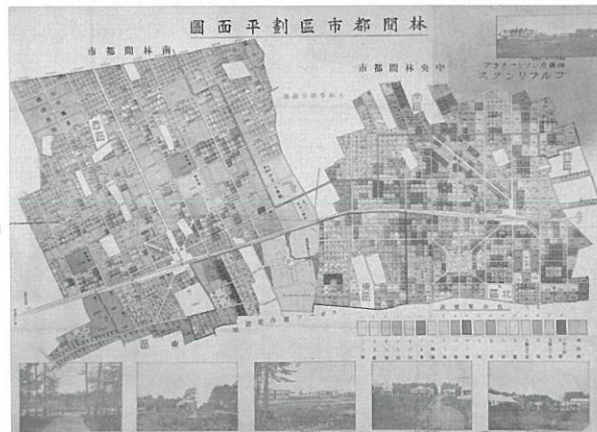
交通の発達と戦争

市域の交通ことはじめー乗合自動車と神中鉄道

市域に初めて鉄道（神中鉄道）が通ったのは、大正15年（1926）5月。昔から交通の要衝であったこの地は、乗合自動車（現在のバス）の往来も活発でした。昭和の幕開けとともに、現在につながる交通インフラの黎明期を迎えた様子を紹介します。

小田原急行鉄道の開通と林間都市計画

市内の南北を走る小田急電鉄江ノ島線は、昭和4年（1929）に前身の小田原急行鉄道株式会社によって開通しました。以降、市内交通の要となった小田急線の歴史を、創業者利光鶴松の思い描いた林間都市計画とともに紹介します。



林間都市計画平面図

市域と戦争

市域とその周辺には、厚木飛行場や、戦闘機の生産工場であった高座海軍工廠といった海軍施設が建設され、急速な人口増加に対応するための都市計画や町制が施行されました。戦争により変化を遂げる様子や、高座海軍工廠で働いた台湾少年工、終戦時の第三〇二海軍航空隊反乱事件やマッカーサー上陸などの、さまざまなエピソードを紹介します。

関東でもトップクラスの交通網を誇るまちへ

戦後、鉄道やバス、道路などの交通網が整備され、それに伴い大きく変化したまちの様相を、今と昔を比較しながら写真や地図で紹介します。また、市域を通る東名高速道路開通・田園都市線開通の記念切手や記念乗車券なども展示します！



純農村生活から町場の生活へ

昭和の幕開けとともに交通インフラが整備され、のどかな農村地帯から都市へと急速に変貌を遂げるなか、人々の暮らしも大きく変わりました。戦前の古い生活様式を残した農家と、戦後の新しい生活様式を取り入れた町場の家の様子を紹介します。

会場

大和市文化創造拠点シリウス

1階ギャラリー [〒242-0016 大和市南1-8-1]

小田急江ノ島線「大和」駅下車 徒歩約3分

主催

大和市

お問い合わせ

つる舞の里歴史資料館 TEL 046-278-3633

